

「社会福祉基礎」シラバス

学科	総合学科	学年	1 年	類型		組	7 組	単位数	2
使用教科書	社会福祉基礎（実教出版）								
副教材等	社会福祉基礎学習ノート 新課程版（実教出版）								

1 学習の到達目標

- | |
|---|
| ① 社会福祉に関する基礎的な知識と技術を習得し、社会福祉全体についての理解を深める。
② 現代社会における社会福祉の意義や役割などについて理解を深め、社会福祉の基本的な見方や考え方を身に付ける。
③ 人間としての尊厳の認識を深め、社会福祉の向上を図る能力と態度を身に付ける。 |
|---|

2 学習評価

次の3つの観点に基づき、各学期ともに定期考査までの学習内容のまとまりごとに、下記の評価項目により評価をする。学年末において、観点別評価を5段階の評定に総括する。

知識・技術	社会福祉に関する基礎的な知識を身に付けるとともに社会福祉の意義や役割について理解しているか。また、福祉に関する諸活動に対応することを目指して、様々な資料や情報を収集し、適切に選択して活用しているか。	(1)(2)(6)
思考・判断・表現	社会構造や日常生活から起こる社会福祉に関する諸問題の解決を目指し、考えを深め、基礎的な知識と技術を基に、介護に携わる者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けているか。	(1)(4)(5)(7)(8)
主体的に学習に取り組む態度	健全で持続的な社会の構築を目指して自ら学び、福祉の見方・考え方を働かせ、福祉社会の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養うことができているか。	(2)(3)(4)(5)(6)(7)(8)
評価方法	主な評価項目	
ペーパーテスト	(1)定期考査 (2)小テスト	
学習状況の観察	(3)自己評価の実施 (4)授業中の活動状況等	
課題などの提出状況	(5)課題等の提出状況 (6)ノート・学習ワーク等の提出状況	
言語活動の観察	(7)グループワークなどへの取組状況 (8)発表の様子	

3 学習の計画

学期	学 習 内 容	学 習 の ね ら い	評価項目
一 学 期			
二 学 期	第1編 社会福祉の理念と意義 第1章 生活と福祉 第2章 社会福祉の理念 第3章 人間の尊厳と福祉社会の創造 第3編 生活を支える社会福祉・社会保障制度 第1章 社会福祉・社会保障制度の意義と役割 第4章 高齢者福祉	- 日常生活と福祉の関わりや社会福祉の理念について、理解する。 - 社会福祉の理念や在り方に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する方法を見いだす。 - 社会福祉の理念や意義について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む。 - 社会保障の基本的な仕組みや概要、課題について理解する。 - 社会保障制度の現状に関する課題を発見し、科学的根拠に基づいて創造的に解決する方法を見いだす。 - 社会福祉や社会保障制度を生活と関連づけて自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む。	(5)(6)
三 学 期	第3編 生活を支える社会福祉・社会保障制度 第4章 高齢者福祉 第3章 障害者福祉	- 高齢者を支える社会福祉サービスについて、関連する法規や社会福祉サービスの概要について理解する。 - 高齢者福祉に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する方法を見いだす。 - 高齢者を支える福祉サービスについて自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む。 - 障害者を支える社会福祉サービスについて、関連する法規や社会福祉サービスの概要について理解する。 - 障害者福祉に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する方法を見いだす。 - 障害者を支える福祉サービスについて自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む。	(6)

備考 (1)(2)(3)(4)(7)(8)は、全ての単元において評価項目として用いる。